

美保空港

【実施主体:個社】

美保空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【短期】	賃上げを含む処遇改善のために不可欠な受託料の引き上げ	契約元への受託料引上げ交渉の実施	小型機等の燃料給油量の少ない機体への給油に関する手数料の値上げを行った。	
		保安検査契約料金の値上げ交渉	契約先との意見交換を実施。次年度の契約料金の引き上げを申し入れている。	契約料金の引き上げていただき、従業員の給与に反映。継続して賃上げをし、離職防止につなげたい。
		総代理店への委託料の見直し 外航受託料の引き上げ	本社にて、R5年度契約料の引き上げを実施。R6年度契約料の引き上げを実施。R7年度契約料の見直し検討に着手。 本社にて、外航受託料の引き上げ交渉を実施。	
		検査会社への委託料の見直し	本社にて、R5年度に引き続きR6年度契約料金の引き上げを実施。	
【短期】	人材確保にマイナスに働く受託契約の内容の適正化(キャンセル料の設定 等)	契約元へキャンセル発生時の取り扱いについて交渉実施	航空機への給油予定が入り人員等を配置したが、突然キャンセルや給油無しとなった場合のスタンバイ料の設定を行った。	
		検査会社への委託契約条件の設定	検査会社への委託契約に時間保証を継続して設定。	
		外航受託契約条件の見直し	本社にて、最低保証条項やキャンセル料条項の導入を検討・実施中。	
【短期】	職場環境改善に向けた取組の推進			
【短期】	職員の負担の集中を回避するための正確な現状把握	個人面談を行い現状の把握	個人業務分担表の作成	
		生産量ならびに生産対応状況の把握	本社にて、自社グループ空港運営会社の生産対応状況を毎月把握。	
【短期】	適切な業務量調整による高負荷の抑制	勤務体制の見直し	運航便に合わせ勤務体制の変更を行い、集中する時間帯の負担軽減を図った。	
		生産量ならびに生産対応状況の把握	本社にて、総代理店の生産対応状況を毎月把握。	

【実施主体:個社】

美保空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【短期】	適切な業務量調整による高負荷の抑制	外航側からの応援要員派遣	本社にて外航と調整し、不足人員を外航側からの応援要員で暫定的に充足。(増便までのリードタイムを重視するケースにて実施)	
【短期】	採用活動の推進(グラハン経験者採用の強化(Uターン・Iターンの活用)等)	採用情報サイトの活用	採用情報サイトへ掲載を行った。	
		採用広告の拡充	鳥取県の支援により地元ケーブルテレビや街頭サイネージに総代理店の募集CMを放映	
		採用情報の広範囲での広報活動	自社グループHPの採用情報に地区総代理店の採用情報(職種別)を掲載し無償で広い範囲で採用広報をサポート。	
		入社準備金の新設	新規採用者の入社時の移転費用の負担軽減を目的として、入社準備金を支給する制度を新設した。	応募数の増加につながっている。
		ワークプレイス制度の実施	自社グループとしてリテンションを図るべく、働く場所の事情に応じたグループ内転籍制度の運用を実施。	R5.4以降 90名程度応募あり(グループ全体)
【短期】	教育期間の短縮に向けた工夫(実践技術に特化した訓練等)	自社規定の見直し実施	教育カリキュラムの短縮を行い、資格発令が早く行えるよう改善を行った。	
		複数社のランプ作業資格の相互承認	複数社のハンドリングしている9空港を対象に、作業資格の相互認証ならびに同種教育(航空保安・飲酒対策・落下物防止対策)の共通化施策を検討中。現在、対象資格の洗い出しを実施中。	
		係員の訓練時間の適正化	本社にて、受託にかかる訓練時間の短縮余地の精査を実施。	
【短期】	需要回復の進捗状況に応じた、限られたリソースの集中的な投入	外航受託にむけて経験者の短時間採用の実施	総代理店の経験者で短時間での契約社員を採用し外航便の受託に対応	
		空港間における業務支援の実施	生産量、生産対応状況を踏まえ、自社グループ空港運営会社からの業務応援派遣を実施。	R4年度より継続。R5.4以降、最大100名/月 実施

【実施主体: 個社】

美保空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【中期】	長期に誇りをもって勤められるキャリアパスの整備	グループ内異動の公募の実施	空港横断的な配置によるキャリア形成を支援すべく、空港部門内でのグループ会社間異動の公募を実施。	R6.4より公募合格者の配置を実施予定(8名程度)
【中期】	ハード・ソフトの両面からの職場環境改善の推進	施設・設備の改善	休憩室の改善を計画。	
		貸与品の改善	より快適な制服(グラハンポロシャツ、ファン付きベスト)やヘルメット、タブレット使用も可能な高機能手袋の購入。 個人のニーズを踏まえた貸与ルールへの改善。 暑さ対策として、JSAA規格プロテクティブスニーカーのトライアル実施。	
【中期】	特定技能制度の積極的な活用			
【長期】	短時間労働やマルチタスク化を含む多様な働き方の実現	多様な働き方の推進	短時間労働・マルチタスク導入に向けた事例紹介およびフォロー	
【長期】	業務内容や技術に応じた賃金の設定			
【長期】	就航メリットを享受する主体間のリスク分担の実現	自治体との連携	外航受託に際し資格者養成の費用を自治体が助成。	
【長期】	人件費圧縮競争を防止する観点からの多重委託構造や雇用慣行・契約慣行の見直し(保安検査における長い拘束時間の見直し 等)	特定業務に対する委託費構造改革	二次委託の多い特定業務に対する委託費構造改革に着手。	

【実施主体:空港会社等】

美保空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【短期】	空港内の労働環境の改善	エプロン内作業での暑さ緩和	給水車を使用した打ち水	
【短期】	空港の知名度を生かした採用活動(空港短期の合同ツ説明会 等)	空港事業者連携による高校生インターンシップの受入れ	人手不足解消のために、地元高校が実施する職場体験を空港ビルが主体となって受入れを行い、空港内事業者(航空会社ハンドリング、清掃、案内所等)の業務体験の機会を提供(2025年7月も実施予定)	参加した高校生からは、空港内にも様々な仕事があり、やりがいのある職業だと分かったとの感想が届き、職員確保への一助となった
【短期】	マルチタスクを担うことができる空港人材の育成に向けた研修			
【短期】	空港WGの活動推進			
【中期】	GSE車両の共有化・共用化の推進			
【中期】	男女比の極端な偏りの解消に向けた取組推進(「旅客は女性」等のイメージ払拭、更衣室等の施設整備 等)			
【長期】	就航メリットを享受する主体間のリスク分担の実現			
【長期】	スマートレーン等の先進機器の導入			
【長期】	サプライチェーン等を意識した効率的な設備配置に向けた調整			

【実施主体:地方自治体】

美保空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【短期】	地元グラハン会社・検査会社とのコミュニケーションの強化(人員体制等の正確な現状把握 等)	グラハン受託事業者等との意見交換会の開催	グラハン受託事業者、地元自治体、空港ビル等の関係機関と路線誘致の方向性、グラハン人員の確保状況、施設環境の課題等について定期的に意見交換	
【短期】	空港業務は地域の雇用を支える地場産業であるという観点から、部局横断的な連携の下での取組の実施			
【短期】	空港業務支援も誘致支援の一部と位置づけた上での関係部局(観光、産業振興 等)と連携した支援の実施			
【短期】	空港WGの活用推進			
【中期】	地方経済を支える空港業務の担い手が真に求めている支援措置の検討(空港アクセスの不便さを考慮した住居支援、通勤支援 等)			
【中期】	特定技能の在留資格を有する外国人が地域に馴染むための環境整備			
【長期】	就航メリットを享受する主体間のリスク分担の実現			
【長期】	持続可能な観点からの戦略的な路線誘致(交通部局と観光部局との緊密な連携)			
【長期】	地方経済を支える空港業務の担い手が真に求めている支援措置の充実			

【実施主体:国】

美保空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【短期】	各空港におけるベストプラクティスの横展開(事例収集・整理等)	米子空港利用者利便向上協議会の関係機関へのベストプラクティス等の情報提供	関係機関が、空港業務を持続可能なものにしていくための取組を検討・実施する際に、参考とするため、事例収集の情報提供を行った。	
【短期】	地域の意欲的な取組への積極的な協力(空港説明会への参画等)	空港で働く車の特別展示&体験搭乗	航空会社が実施した空港で働く車の特別展示&体験搭乗について、バスプールの一部を提供して協力。	
		国際線受入再開に向けた米子空港利用者利便向上協議会の実施	国際線受入再開に向けて、関係機関との調整事項にかかる所要期間や今後のスケジュールなどについて、米子空港利用者利便向上協議会を活用。	
		米子鬼太郎空港空の日イベントでハンドリング業務見学&スノーバー体験搭乗	航空会社が実施した空港で働く車の見学&体験搭乗について、エプロンの一部を提供して協力。	
【短期】	生産性向上・業務効率化の実現に向けた取組支援(先進機器の整備補助等)	地方空港等受入環境整備事業費補助金の取組支援(人材確保)	航空・空港関係者が実施する人材確保に資する環境整備事業について、米子空港利用者利便向上協議会を通じて人材確保に係る取組支援を実施。	
【短期】	各主体による取組の重要性の発信	ありがとうポスターの周知・掲示	ポスターの作成意図等について職員へ周知を行うとともに、庁舎内の来客の目に触れる複数の場所へ掲示。	
		「空港業務の持続的発展に向けたビジョン」の再周知	「空港業務の持続的発展に向けたビジョン」について、各主体の取組の更なる浸透を図るため空港WGを開催し再周知。	
【短期】	空港WGの活用推進	課題整理及び対応可能な課題の取組実施	空港WGを通じ、各社が抱える問題等を共有し課題整理を行い、対応可能な課題について取組実施。	
		航空局HP公表情報の共有	「航空燃料供給不足への対応に向けた官民タスクフォース」における「航空燃料供給不足に対する行動計画」について、公表された情報をもとに空港WG内へ共有を行った。	
【中期】	空港DXの導入促進に向けた実証実験	他空港の導入事例等の横展開	空港WGにおいて、航空局HPに掲載されているベストプラクティス等の他空港事例について横展開を行った。	
		地方空港等受入環境整備事業費補助金の取組支援	事業者が令和5年度補正補助金制度を利用するにあたり、助言等を行う。	

【実施主体:国】

美保空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【中期】	更なる支援措置等の検討(人材確保・育成、業務効率化、GX/DX 等)	地方空港等受入環境整備事業費補助金の取組支援(人材確保)	航空・空港関係者が実施する人材確保に資する環境整備事業について、米子空港利用者利便向上協議会を通じて人材確保に係る取組支援を実施。	
		地方空港等受入環境整備事業費補助金の取組支援(人材確保育成)	航空・空港関係者が実施する人材育成に資する環境整備事業について、米子空港利用者利便向上協議会を通じて人材育成に係る取組支援を実施。	
【長期】	先進技術等の開発・実証、更なる活用の推進			
【長期】	業界ルール整備を前提とした、専門学校との連携強化や共同訓練の推進			
【長期】	処遇改善・業務効率化等に必要な保安関係料金の適正水準のあり方の検討			
【長期】	必要に応じた制度的見直し	空港WG構成員の追加	空港WGに未加入であった空港内事業者に対し呼びかけを行い、構成員として追加を行った。	
【長期】	空港に関する基礎的データの収集・整理(職員数、年齢構成、年代別年収、離職率 等)			